

地区社協の活動と取り組みを順番に紹介します

順化地区

ひとりひとりのやさしさが
地域の大きな力となって

順化地区社協会長 村田 眞一



順化地区は福井市の中心部に位置し、官公庁や企業のオフィスが立ち並ぶ地域です。そのため、昼間と夜間の人口の差が著しく、人

口・世帯数の減少や少子・高齢化が進み、令和3年1月現在の高齢化率は37・9%となっております。

順化地区の特色ある地域福祉活動としては次の2つがあります。

1つ目は自治会型デイホーム事業です。順化地区自主開催として行っている『健康脳トレ麻雀』は利用者から大人気で、毎回20名以上の利用者が楽しみに参加されています。

さらに参加者のみなさんが楽しみにしていることは、敬老会での「デイホームの発表の場」です。デイホームで練習を重ねてきた音読や踊り等を披露する場があるこ

とで、みなさん心も体もいきいきと輝いております。いずれも、令和2年度はコロナのため中止になりましたので、再開が待ち遠しいです。

2つ目は、「順化地区タオル供出運動」で昭和42年から毎年行っています。タオル、石鹸、手拭い等を自治会長さん経由で集め、市社協を通じて市内の老人福祉施設や障がい者福祉施設等へ寄贈しています。

今年度はコロナ禍にも関わらず、576点もの品物が集まりました。毎年贈呈用の箱詰めをしながら、ひとりひとりのやさしさが、地域の大きな力となってここまで継続できていることを実感しています。

順化地区では「ひとりが皆のために、皆がひとりのために」をスローガンに活動を行っています。これからもこのスローガンのもと地域の高齢者、子どもたちを見守りたいと思っております。

清明地区

地域住民と共に福祉のともじびを

清明地区社協会長 藤嶋 昭二

昭和57年4月に新地区の誕生と共に「清明地区社協」が結成されました。

それ以来、「温かい心の通じ合う地域づくり」をテーマに、福祉委員による見守り訪問活動や自治会型デイホーム事業、食事サービス事業実施を通して、福祉問題の早期発見や必要な方への情報提供等を行い、日々、地域での支え合い活動の充実・強化に取り組んでいます。

時代の流れと共に福祉課題を抱える人たちが増え、その重要性は増えています。支え合い活動への理解者を増やすと共に、その輪を



若い世代にも広げていくことが必要です。

若い世代への働きかけとして、自分たちが将来年老いても安心して暮らしていける地域づくりとは何か、私たちひとり一人の考えや行動がどうあるとよいか等、今一度、みんなで考える機会をもつことが大切であると考えています。

手話や点字、車いす等の体験学習や、当事者の方を講師に招いてのボランティア講座、福祉のまちづくりワークショップなどを通じて、優しさや思いやりの心の育成する機会を次年度以降、検討していきたいと思

います。
清明地区社協では、身近な町内での顔の見える互助運動をめざし、「**ち**小さなことから**い**一歩ずつ、**き**近所と始めよう、**ふ**普段の**く**暮らしの**し**幸せ」を呼びかけながら、温かい町内、安心して住み続けられる清明のまちづくりへと、地域住民と共に、一隅を照らす「福祉のともじび」を掲げていきたいと思